

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年は、例年とは異なり、新型コロナウイルスの感染防止のために、来賓の方々や保護者の方々の参列をお断りして、簡素化して、卒業式を開かざるを得なくなったことは、誠に残念です。しかし、卒業式を中止する大学が多いなか、春爛漫の気候に祝福され、卒業式を挙行することができたことは良かったと思っています。市邨学園名古屋経済大学は、本日、大学院博士課程2名、修士課程43名、学部生420名、あわせて465名の卒業生を送り出すことになりました。

ところで卒業生の皆さん、学生時代はいかがだったでしょうか。充実した学生時代を送り、達成感に満ち溢れている方もあるでしょう。他方で、やり残したことが数々あり、もう少し勉強をしておけば良かった、と感じている人も少なくないのではと推察いたします。しかし、心配をする必要はありません。日本語では「卒業」とは「業」を「終える」という意味ですが、私が留学したケンブリッジ大学では、卒業を **Commencement** と呼んでいました。これは「始まり」という意味です。また、多くのアメリカの大学では卒業を **Graduation** と呼ぶようですが、これは「階段」という意味です。つまり卒業は新たな世界への旅路の始まりであり、人生の新たな第一

歩であるのです。これからみなさんは、新しい夢を持って社会生活を送ることになります。何事も初心忘るべからず、今抱いている、わくわく感を忘れることなく、社会に出て行っていただきたいと思えます。

現代は、経済活動の急激なグローバル化とAIを中心とした科学技術の急速な発展の時代で、将来を見通すことが非常に困難になっています。人類はこの急展開に適応できず、世界が混乱を抱えているように思われます。今回の新型コロナウイルスの世界への急速な感染拡大にしても、グローバル化を前提にしなければ考えられないことです。感染の拡大を国境線で防ぐことが不可能に近いこと、人やモノの国境を越えた移動を制限することが、個別国家の経済のみならず、世界経済に大きな影響を及ぼすことなどを、この問題の展開は明確に示しています。また、急速なグローバル化に対する反発は、この問題を通じて、他国民への差別意識の拡大を招いています。みなさんも、この新型ウイルスの世界的な感染の問題をグローバル化の展開との関連で考えていただきたいと思えます。これから皆さんは、グローバル化による様々な困難に突き当たると思われるからです。

他方で、科学技術の急速な発展は、人間社会の在り方を大きく変えようとしています。今こそ、人間とは何かを考え、発達するAIやロボットを前に、人は何をすべきかを考え続ける必要に迫られていると思います。予測不可能なことにおびえるのではなく、学び続けることにより、変化に適応する柔軟さを身につけ続けてください。そうすれば、必ず道が開かれるはずです。名古屋経済大学も学びなおしを支援する制度を立ち上げる予定にしています。

今日は長くは話しません。皆さんが卒業した年は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大がみられた年で、東京オリンピックの開催が（今のところは）危ぶまれた年であることを一生忘れることはないでしょう。これは、グローバル社会に生きるための人類に課せられた課題を象徴的に表していることを肝に銘じて、新しい人生の第一歩を踏み出してください。あらためて、ご卒業おめでとうございました。